



**ULTRA DRIVE (Mac 版)**

**ユーザーガイド**

**Last update 2021.12.23**

**Ver.2.1.10**

■ ULTRA DRIVE とは

インターネット上（クラウド）に大切なデータを保存することができる便利なアプリケーション（オンラインストレージ）です。

■ 本資料について

ULTRA DRIVE サービスは、マイナーバージョンアップ等もあるため実際のクライアントと本資料に差分が発生する場合があります。

■更新履歴

日付	Version	更新内容	備考
	1.0.0	初版作成	
2016.01.15	2.1.4	全体体裁修正	Version1.0.5
2017.07.25	2.1.6	1.動作環境 サポート OS バージョンを変更。	Version1.0.8
2018.05.31	2.1.7	1.動作環境 サポート OS バージョンを変更。	Version1.0.9
2019.07.24	2.1.8	1.動作環境 サポート OS バージョンを変更。 18.1.Mac クライアントと Windows クライアントの違い 表内アクセスチケットの SNS 連携機能について修正。	Version1.1.0
2021.06.29	2.1.9	1.動作環境 サポート OS バージョンを変更。	Version1.1.1
2021.12.23	2.1.10	1.動作環境 サポート OS バージョンを変更。 4.プッシュ通知について 通知機能について注意点を追記	Version1.1.2

## 目次

<b>1. 動作環境.....</b>	<b>6</b>
<b>2. アカウントを設定する .....</b>	<b>6</b>
<b>3. MAC クライアントから利用できる機能.....</b>	<b>7</b>
<b>4. ファイル・フォルダのアップロードとダウンロード .....</b>	<b>10</b>
4.1. ファイルのアップロード .....	10
4.2. ファイルのダウンロード .....	12
<b>5. ファイル更新履歴の管理 .....</b>	<b>13</b>
<b>6. 更新履歴の上限の設定 .....</b>	<b>14</b>
<b>7. 操作履歴の確認 .....</b>	<b>15</b>
<b>8. アクセスチケットの生成（フォルダ/ファイルの公開） .....</b>	<b>17</b>
8.1. フォルダの公開 .....	17
8.2. 公開フォルダへファイルをアップロード .....	20
8.3. 公開フォルダからファイルをダウンロード .....	21
8.4. ファイルの公開 .....	22
8.5. 公開ファイルのダウンロード .....	23
<b>9. アクセスチケットの管理（フォルダ/ファイル公開の管理） .....</b>	<b>24</b>
9.1. 単一のフォルダ/ファイルのアクセスチケットの管理（共通） .....	24
9.2. アクセスチケット一覧による管理（フォルダ・ファイル共通） .....	25
<b>10. ごみ箱の利用 .....</b>	<b>26</b>
<b>11. ローカルデータのバックアップ .....</b>	<b>27</b>
11.1. バックアップツール .....	28
11.2. 手動バックアップ .....	30
11.3. バックアップデータの復元 .....	31
11.4. バックアップデータの削除 .....	33
<b>12. SYNC 機能 .....</b>	<b>34</b>
<b>13. ブックマーク機能 .....</b>	<b>36</b>

14.	プッシュ通知機能 .....	37
15.	利用容量の確認 .....	38
16.	新規ファイルの作成と編集（テキスト） .....	39
17.	新規フォルダの作成 .....	40
18.	仕様に関してのご注意事項.....	41
18.1.	MAC クライアントと WINDOWS クライアントの違い .....	41
18.2.	ご注意事項.....	43

## 1. 動作環境

HDD : 10MB 以上の空き容量

OS : macOS v10.15 Catalina

macOS v11.4 Big Sur

## 2. アカウントを設定する

Dock メニュー・アプリケーションフォルダのいずれかから ULTRA DRIVE を起動します。

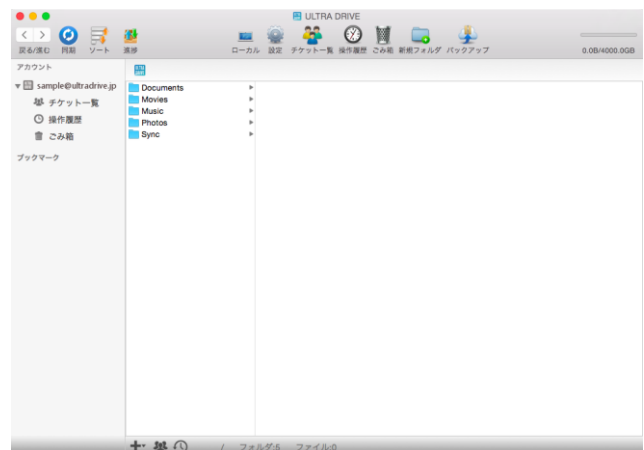
アカウント設定ウィンドウが開きます。

アカウント・パスワード欄にご登録のメールアドレス(アカウント)とパスワードを入力して「サインイン」をクリックします。

「パスワードを保存する」にチェックをすると次回 ULTRA DRIVE 起動時に自動サインインができます。



ULTRA DRIVE へのサインインが完了するとお客様の ULTRA DRIVE のメイン画面に切り替わります。

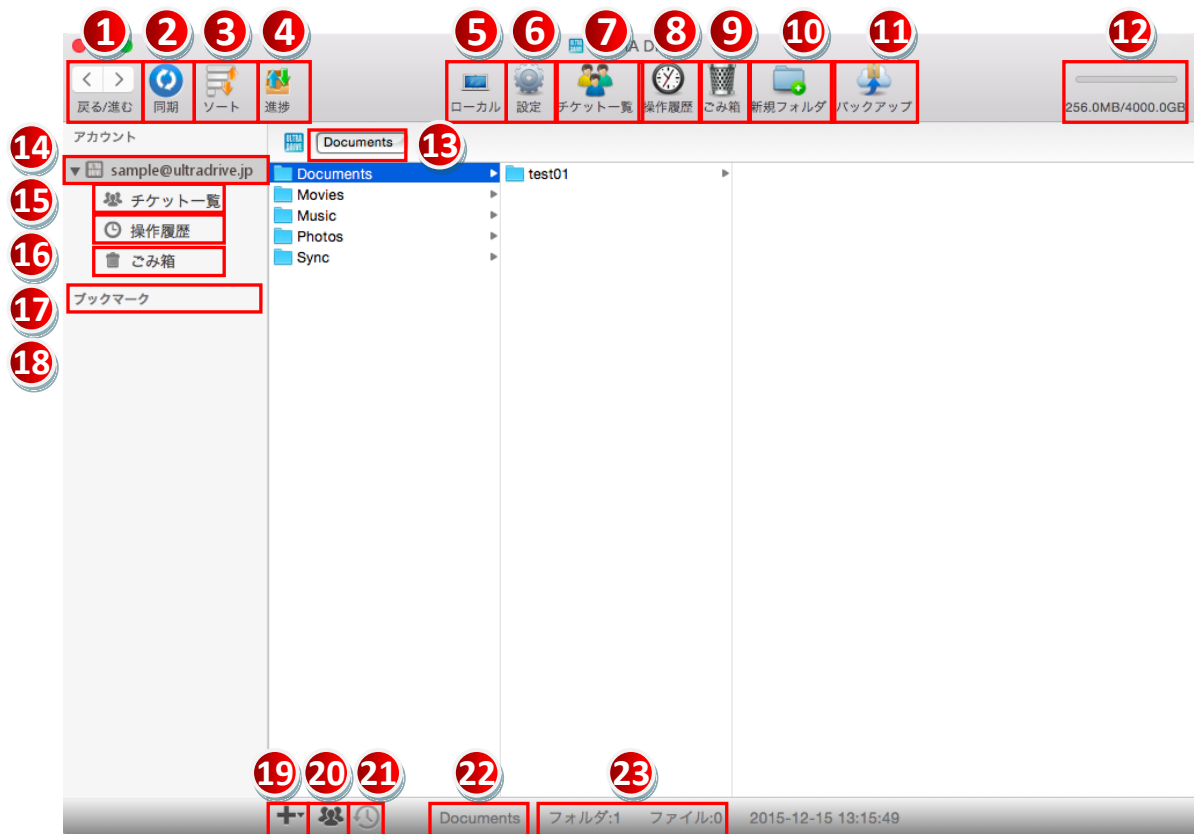


### 3. Mac クライアントから利用できる機能

ファイル・フォルダのアップロードとダウンロード	ULTRA DRIVE に ファイルをアップロード/ダウンロードします。
ファイルの更新履歴の管理	内容を変更したファイルを上書きアップロードした際 旧ファイルの情報を保持し、復元する事ができます。
操作履歴の確認	どんな方法で、どのファイル进行操作したか履歴を確認 できます。
更新履歴の上限の設定	ファイルの更新履歴の数を、「履歴なし」 から「10」 ま での間で設定できます。
アクセスチケットの生成（フォルダ/ファイルの公開）	フォルダやファイルを公開するURLを発行します。 パスワード、ダウンロード回数の上限、公開期限を設定 できます。
アクセスチケットの管理（フォルダ/ファイル公開の管理）	公開したフォルダやファイルを一覧表示します。 パスワード、ダウンロード回数の上限、公開期限を再設 定できます。
ごみ箱の利用	不要なファイルやフォルダを ごみ箱に入れることができます。 元あった場所に戻すこともできます。
ローカルデータのバックアップ	Macにあるファイルやフォルダを 日時や場所を記憶してバックアップ・復元できます。
Sync機能	SyncフォルダをMac（ローカル）に作成し内容を同期し ます。Disk全体（※）の同期へ設定を変更することもで きます。
ブックマーク機能	ULTRA DRIVEの任意のフォルダへのブックマークを作 成することができます。
プッシュ通知機能	更新があった場合、デスクトップ右上にプッシュ通知が 一定時間表示されます。
利用容量の確認	保存可能なディスクサイズ、使用領域、履歴データ、ご み箱にあるデータを円グラフで確認できます。
新規ファイルの作成と編集（テキストファイル）	ULTRA DRIVEからテキストファイルを作成できます。 編集も可能です。

（※「Disk 全体」とは ULTRA DRIVE 上にある全てのファイルとフォルダを意味します。）

## ULTRA DRIVE の画面表示/アイコン、機能のご紹介





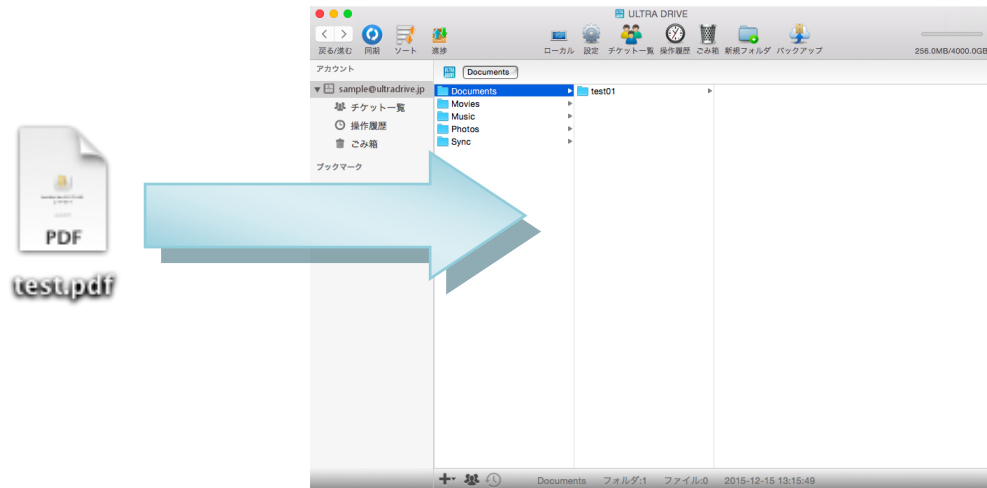
1	 戻る/進む	ULTRA DRIVE のディレクトリ遷移を「戻る」・「進む」	13	 Sync	現在アクセスしているフォルダ名の表示
2	 同期	ULTRA DRIVE を最新の状態に更新します。	14	 sample@ultradrive.jp	現在ログインしているアカウント名の表示
3	 ソート	ファイル・フォルダを名前順、サイズ順、日付順に並び替え	15	 チケット一覧	アクセスチケット一覧の確認
4	 進捗	ULTRA DRIVE へのアップロード・ダウンロード進捗の表示	16	 操作履歴	ファイル・フォルダの検索
5	 ローカル	パソコン（ローカル）に生成される ULTRA DRIVE 用フォルダを表示 「Disk 領域全体を同期する」場合はルートフォルダ、「Sync フォルダのみ同期する」場合は Sync フォルダを表示	17	 ごみ箱	ゴミ箱の中身の確認
6	 設定	アカウントの変更パスワードの変更、Disk の使用量確認、ファイル履歴の上限/同期/ファイルキャッシュ設定	18	 ブックマーク	作成されたブックマーク一覧の表示
7	 チケット一覧	アクセスチケット一覧の確認	19	 +	新規フォルダの作成新規ファイルの作成、ファイル・フォルダのアップロード
8	 操作履歴	操作履歴の確認	20	 +	アクセスチケット一覧の確認
9	 ごみ箱	ゴミ箱の中身の確認	21	 +	ファイルの履歴の確認
10	 新規フォルダ	新規フォルダの作成	22	 Documents	現在アクセスしているフォルダ名の表示
11	 バックアップ	バックアップツールの表示	23	 フォルダ:0 ファイル:0	現在のフォルダ内のフォルダ数・ファイル数を表示
12	 2.3GB/10.0GB	ULTRA DRIVE の使用量の表示			

## 4. ファイル・フォルダのアップロードとダウンロード

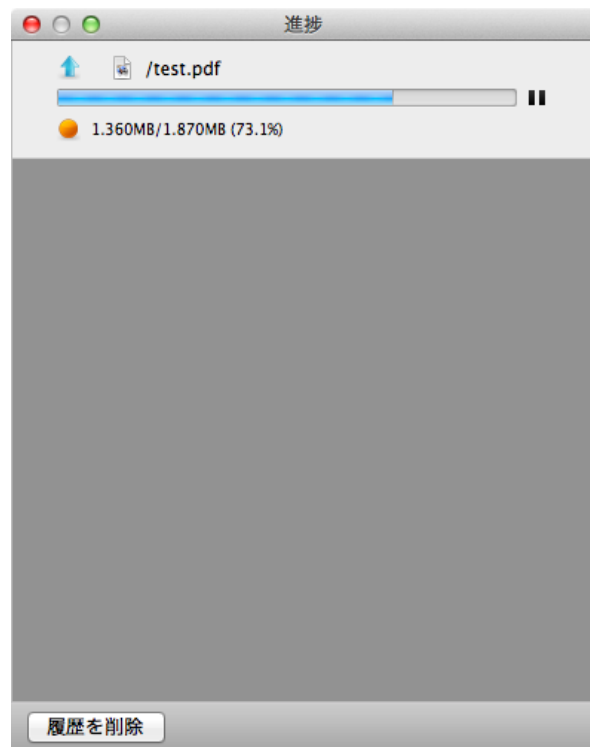
### 4.1. ファイルのアップロード

Dock メニュー・アプリケーションフォルダのいずれかから ULTRA DRIVE を起動します。

メイン画面など任意の場所でお持ちのファイルをドラッグアンドドロップします



右のように進捗画面が表示され、ファイルがアップロードされます。



※アップロードの注意点

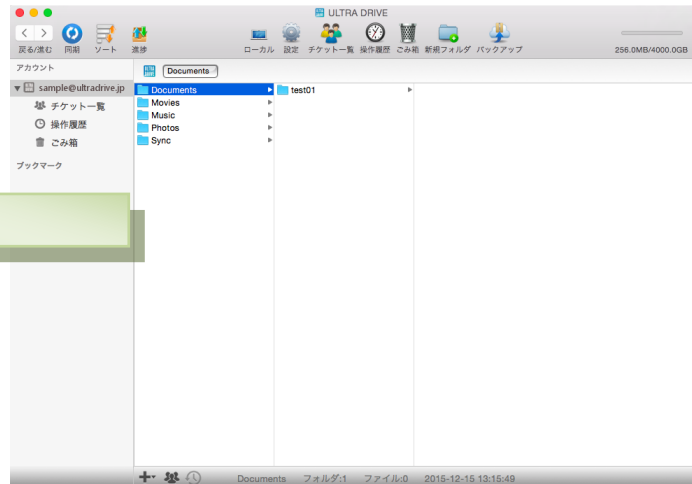
ULTRA DRIVE にあるファイルやフォルダと名前がアルファベットの大文字/小文字しか違いのないファイルやフォルダを 同じ場所へアップロードすることはサポートしていません。

例 1 : ファイル「TEST.txt」がある場所へ、ファイル「test.txt」をアップロード

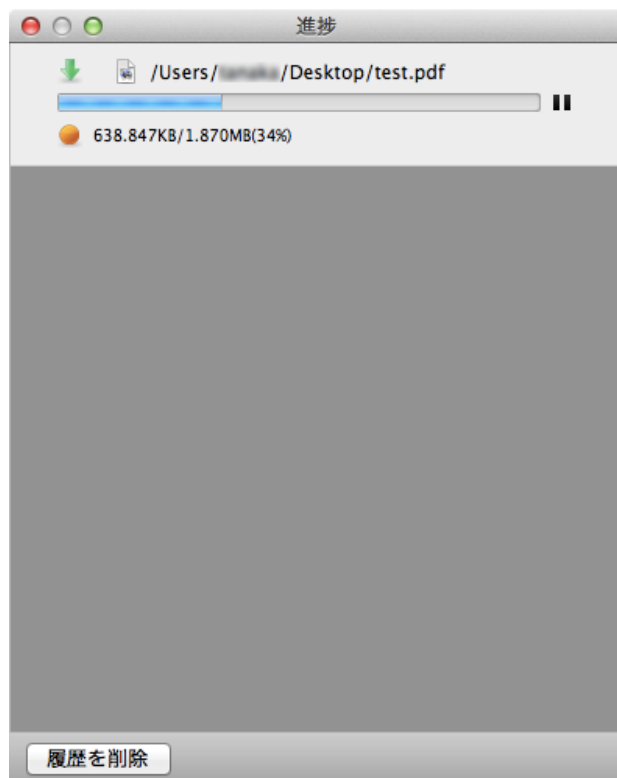
例 2 : フォルダ「sample」がある場所へ、フォルダ「Sample」をアップロード

## 4.2. ファイルのダウンロード

ULTRA DRIVE 上のダウンロードしたいファイルをデスクトップなど任意の場所までドラッグアンドドロップします。



右のように進捗画面が表示され、ファイルがダウンロードされます。



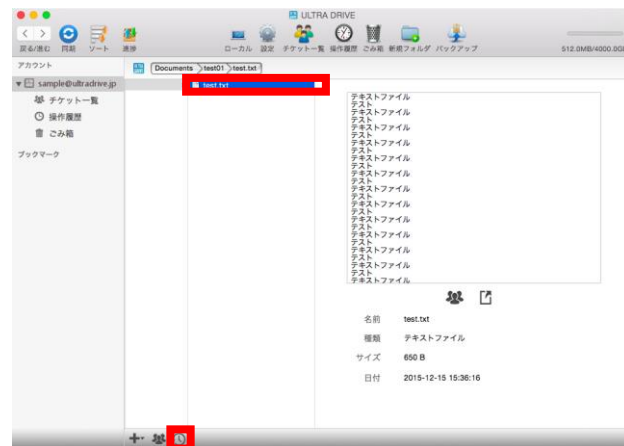
## 5. ファイル更新履歴の管理

上書きによるファイルの更新が、いつ行われたかを記録します。

記録の有無および記録する履歴数の変更は、「6.更新履歴の上限の設定(P14)」で変更できます。

「テストファイル.txt」の更新履歴を確認します。

更新履歴を確認したいファイルを選択し、画面下の  をクリックします。



ファイル履歴画面からいつ更新されたか確認する事ができます。

変更日時	サイズ	操作場所
2015-12-15 15:34:42	367.0B	WebClient
2015-12-15 15:34:37	367.0B	WebClient
2015-12-15 14:57:07	367.0B	WebClient

全ての履歴を削除    選択した履歴以前を削除    ダウンロード    選択した履歴まで戻す


閉じる

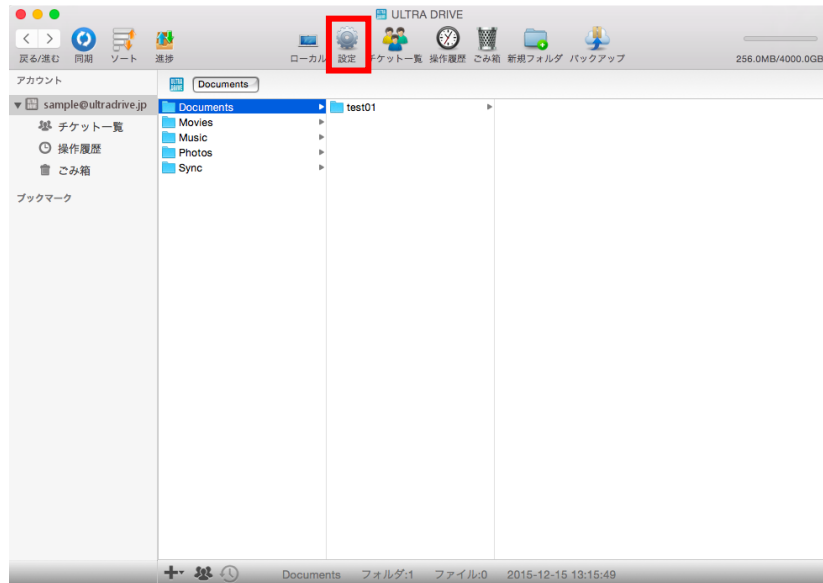
<ファイルの履歴からできること>

- ・全ての履歴を削除：保存されている全ての履歴を削除します。
- ・選択した履歴以前を削除：選択した履歴より過去の履歴を削除します。
- ・ダウンロード：選択した履歴の内容を含むファイルをパソコンに保存します。
- ・選択した履歴まで戻す：ULTRA DRIVE 上にあるファイルを選択した履歴で上書きします。

## 6. 更新履歴の上限の設定

ファイルの更新履歴の上限を設定できます。

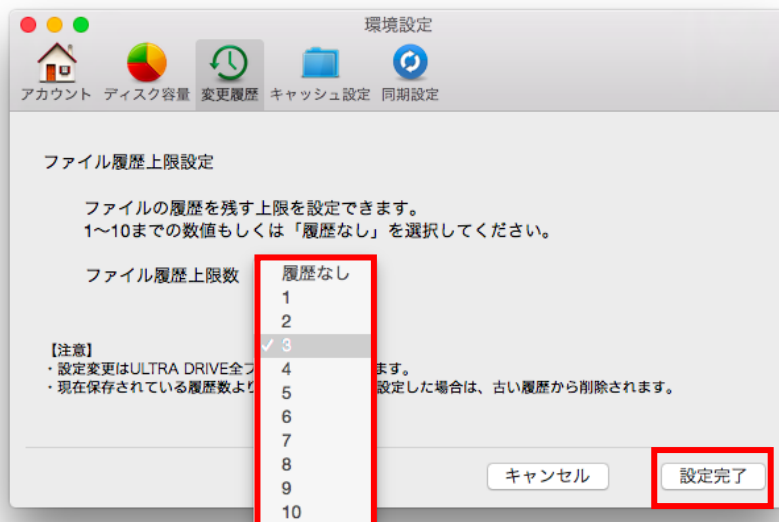
メイン画面上部の  をクリックし、「環境設定」を開きます。



「環境設定」が開いたら「変更履歴」のタブをクリックします。





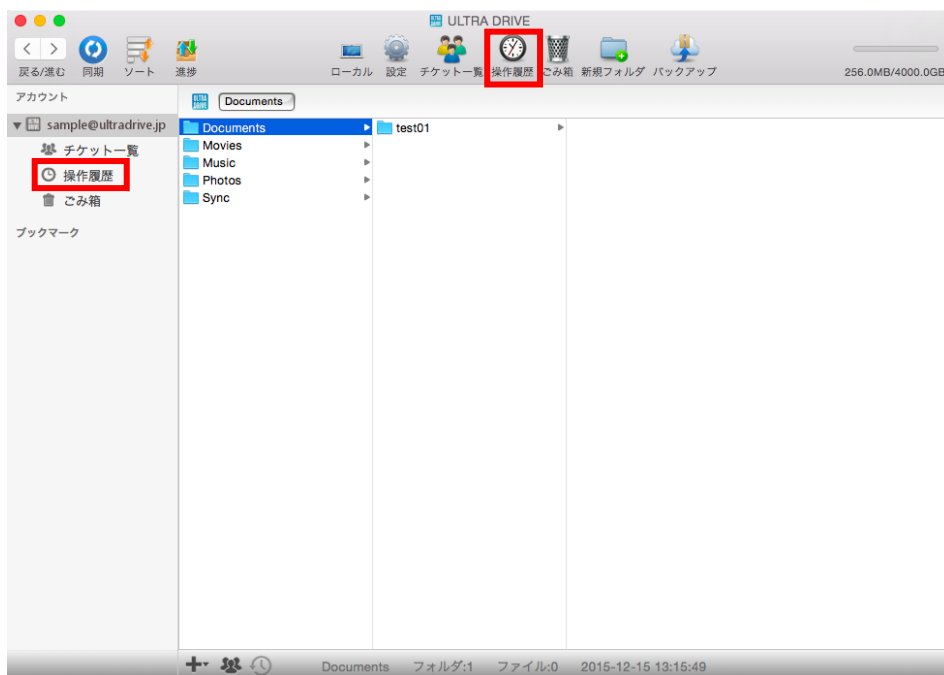
ファイル履歴上限数をプルダウンメニューから選択して、「設定完了」をクリックします。  
(履歴なし～10の間)



## 7. 操作履歴の確認

いつ、どこから、どのファイルを、どのように操作したかを確認することができます。

メイン画面上部の  をクリックするか、サイドメニュー内の  操作履歴 をクリックする事で「操作履歴」を開く事ができます。



名前	サイズ	操作	場所	操作日時	操作場所
test.txt	650.0B	アップロード	/Documents/test01	2015-12-15 15:36:17	WebClient
test.txt	367.0B	アップロード	/Documents/test01	2015-12-15 15:34:42	WebClient
test.txt	367.0B	アップロード	/Documents/test01	2015-12-15 15:34:38	WebClient
履歴上限数変更		設定変更		2015-12-15 15:33:49	MacClient
test.txt	367.0B	アップロード	/Documents/test01	2015-12-15 14:57:07	WebClient
test.txt	7.0B	アップロード	/Documents/test01	2015-12-15 14:54:48	WebClient
test2.txt	4.0B	移動	/Documents/test2.txt	2015-12-15 14:44:03	WebClient
test.pdf	256.0M	移動	/Documents/test.pdf	2015-12-15 14:44:03	WebClient
test.txt	4.0B	移動	/Documents/test01/test.txt	2015-12-15 14:43:53	WebClient
test2.txt	4.0B	移動	/Documents/test01/test2.txt	2015-12-15 14:43:08	WebClient
test2.txt	4.0B	移動	/Documents/test2.txt	2015-12-15 14:42:48	WebClient
test.txt	4.0B	移動	/Documents/test.txt	2015-12-15 14:42:48	WebClient
test.txt	256.0M	アップロード	/Movies	2015-12-15 14:42:16	WebClient
test2.txt	4.0B	アップロード	/	2015-12-15 14:41:08	WebClient
test.txt	4.0B	移動	/test.txt	2015-12-15 14:39:30	WebClient
test.txt	4.0B	アップロード	/Movies	2015-12-15 14:37:24	WebClient
test.txt	4.0B	アップロード	/Movies	2015-12-15 14:36:30	WebClient
test.pdf	256.0M	移動	/Documents/test01	2015-12-15 13:15:49	MacClient
dammy_256mb_r.txt	256.0M	移動	/Documents/test.pdf	2015-12-15 13:14:46	WebClient
dammy_256mb_r.txt	256.0M	アップロード	/Documents	2015-12-15 13:12:02	MacClient
test01		フォルダ作成	/Documents	2015-12-15 13:00:59	MacClient
		パスワード変更		2015-12-11 15:27:18	WebClient

#### <操作履歴画面上で確認できる項目>

- ①名前
- ②サイズ
- ③操作                      移動や削除など、ファイルをどのように扱ったかが記されます。
- ④場所                      ULTRA DRIVE 内の場所になります。「 / 」はメイン画面になります。
- ⑤操作日時
- ⑥操作場所                パソコンや Web ブラウザなど、ULTRA DRIVE への接続方法を判別します。  
パソコンから接続する場合、その端末名を記録します。



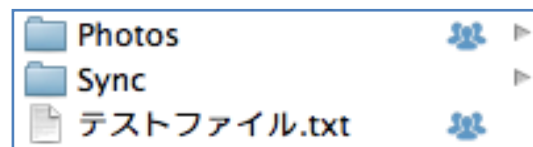
## 8. アクセスチケットの生成（フォルダ/ファイルの公開）

ULTRA DRIVE 上にあるフォルダやファイルを公開する URL を生成します。

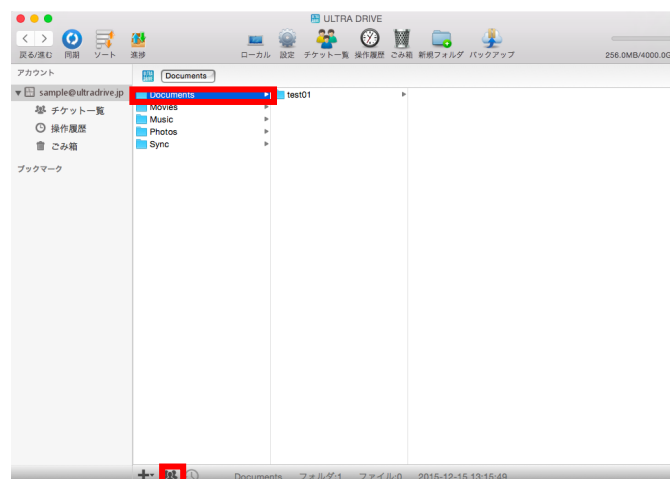
以下の制限を加えることができます。

種別	概要	詳細
フォルダ	アクセス制限	アップロードのみ許可、ダウンロードのみ許可 両方を許可
	期限	カレンダーで公開を終了する日付を設定
	パスワード（必須）	Web ページにパスワードを設定 文字制限 1 文字以上 32 文字以下 以下の文字種が利用可能です。 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ1234567890
ファイル	ダウンロード上限数	制限なし、1～50 回
	期限	カレンダーで公開を終了する日付を指定
	パスワード（任意）	Web ページにパスワードを設定 文字制限 1 文字以上 32 文字以下 以下の文字種が利用可能です。 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ1234567890

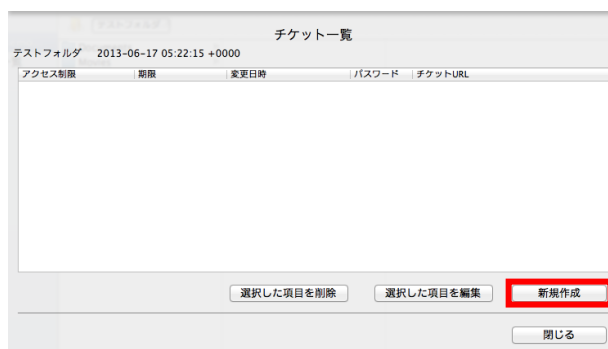
公開したいフォルダを選択して、メイン画面下部にある  をクリックします。



### 8.1. フォルダの公開



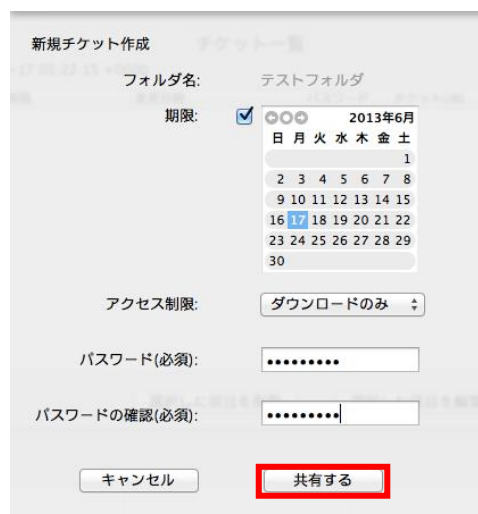
チケット一覧画面が表示されますので **新規作成** をクリックします。



公開するフォルダに対して制限を設定することができます。

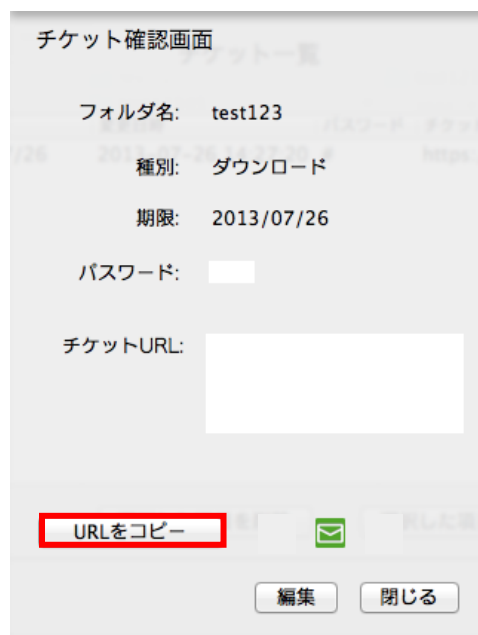
- ・公開期限
- ・種別(アクセス制限)
- ・パスワード(必須)

必要な項目を設定したら **共有する** をクリックします。



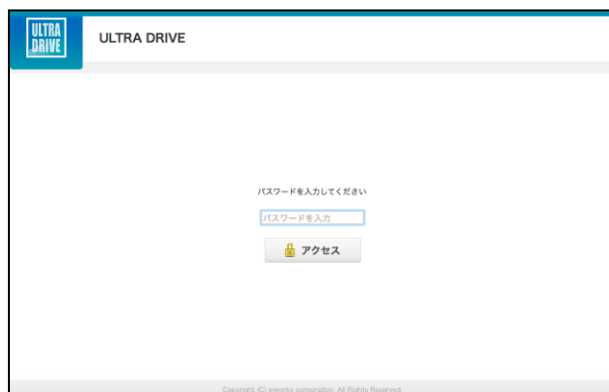
フォルダが公開されます。

**URLをコピー** をクリックすると URL がクリップボードにコピーされますので、メールや SNS 上で URL を通知することができます。



## <通知された URL を web ブラウザで確認する方法>

通知された URL を Web ブラウザでアクセスすると下記画面になります。



パスワードを入力してアクセスすると右のような画面になります。

この画面は、アップロード・ダウンロード共に許可された空フォルダです。新しいフォルダの作成やファイルやフォルダの削除も可能です。



ファイルが存在する場合、右のように表示されます。



## 8.2. 公開フォルダへファイルをアップロード

画面上部の「アップロード」をクリックします。



反転し、下記のウィンドウが現れます。 ウィンドウ中央のグレーの部分にファイルをドラッグアンドドロップしてファイルをアップロードします。

もしくは、「ファイルを選択」ボタンをクリックし、ファイルを選択してアップロードすることもできます。



## 8.3. 公開フォルダからファイルをダウンロード

ファイル名をクリックすると即座にダウンロードが始まります。


もしくは、ファイル名の左側にあるチェックボックスにチェックを入れると画面右側にファイルの詳細とダウンロードボタンが表示されますのでそちらをクリックします。

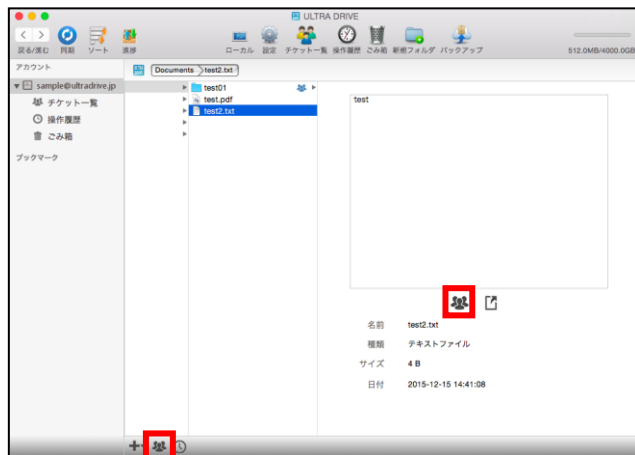


チェックボックスでファイルを複数選択して一括ダウンロードすることもできます。

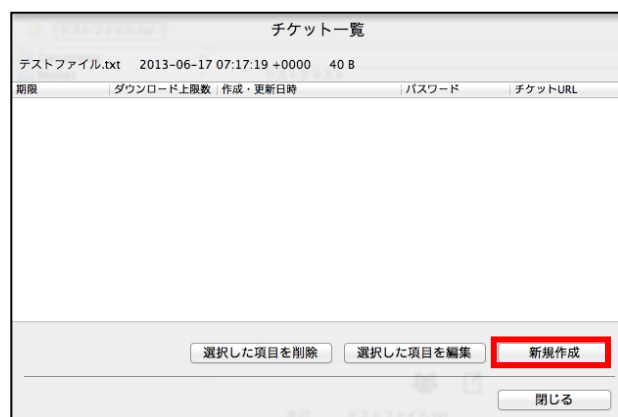


## 8.4. ファイルの公開

ULTRA DRIVE 上の特定のファイルのみ公開したい場合はファイルを選択した状態でプレビューウィンドウもしくはメイン画面下部にある  をクリックします。



チケット一覧画面が表示されますので  をクリックします。



公開するファイルに対して制限を設定することができます。  
設定項目はフォルダと異なります。

- ・ダウンロード上限数(0~10、20、30、40、50 回)
- ・公開期限
- ・パスワード(任意)

必要な項目を設定したら  をクリックします。

ファイルが公開されます。

ファイル名: テストファイル.txt

ダウンロード上限数: 制限なし

期限: ☒ 2013年6月  
日 月 火 水 木 金 土  
1  
2 3 4 5 6 7 8  
9 10 11 12 13 14 15  
16 17 18 19 20 21 22  
23 24 25 26 27 28 29  
30

パスワード設定: パスワードを設定

パスワード:

パスワードの確認:

キャンセル 共有する

**URLをコピー**をクリックすると  
URL がクリップボードにコピーされますので、  
メールや SNS 上で URL を通知することができます

アクセスチケット確認画面



ファイル名: aaaa.txt

ダウンロード制限: 制限なし

期限: 2013/07/26

パスワード:

チケットURL:

**URLをコピー**  

編集 閉じる

## 8.5. 公開ファイルのダウンロード

生成した URL にブラウザでアクセスすると下記画面となります。


「ダウンロード」をクリックすることでファイルをダウンロードすることができます。

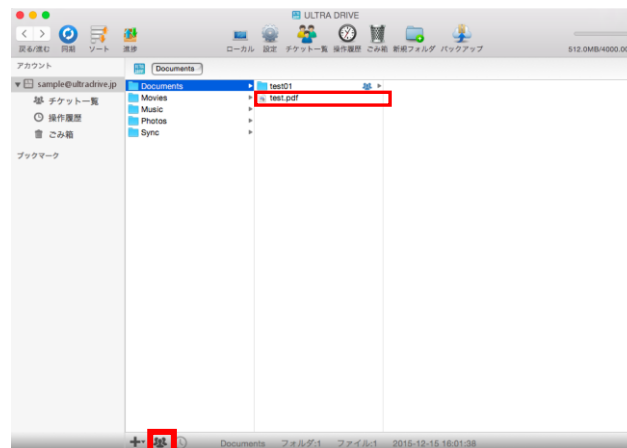


## 9. アクセスチケットの管理（フォルダ/ファイル公開の管理）

一度生成したアクセスチケット（フォルダやファイルの公開）は  
公開を停止(チケットの削除)したり、制限内容を変更したりすることができます。

### 9.1. 単一のフォルダ/ファイルのアクセスチケットの管理（共通）

設定を変更したい公開フォルダを選択した後、メイン画面下部の  をクリックします。  
または対象の公開フォルダを右クリックし、「アクセスチケット一覧」をクリックする事で確認することができます。



「チケット一覧」ウィンドウが表示され、選択されたファイル/フォルダに対しての公開設定が表示されます。

公開設定を選択して頂くことで、  
3つのボタンより操作が選択できます。



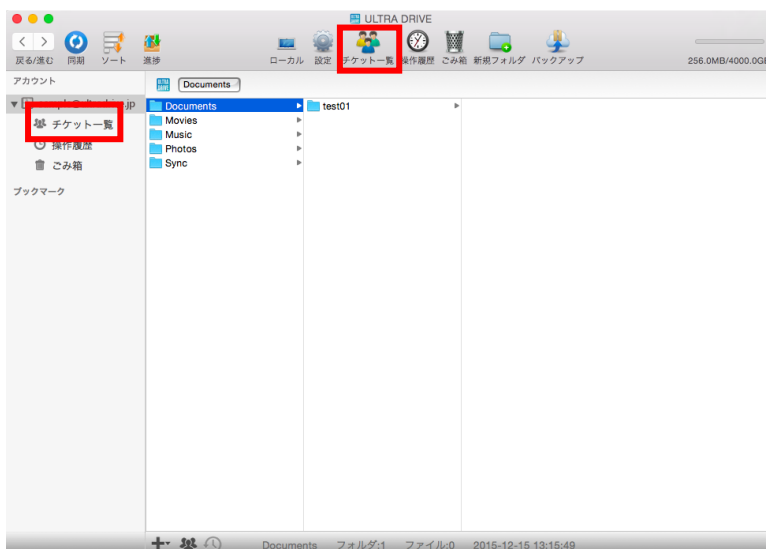
#### <設定項目>

- 選択した項目の削除 : 公開設定(チケット)を削除します。
- 選択した項目を編集 : 既存の公開制限の設定を変更します。
- 新規作成 : 異なる制限を設けた、新しいURLで公開します。




## 9.2. アクセスチケット一覧による管理（フォルダ・ファイル共通）


公開設定を一元管理することもできます。メイン画面上部にあるアイコン  
または **チケット一覧** をクリックします。

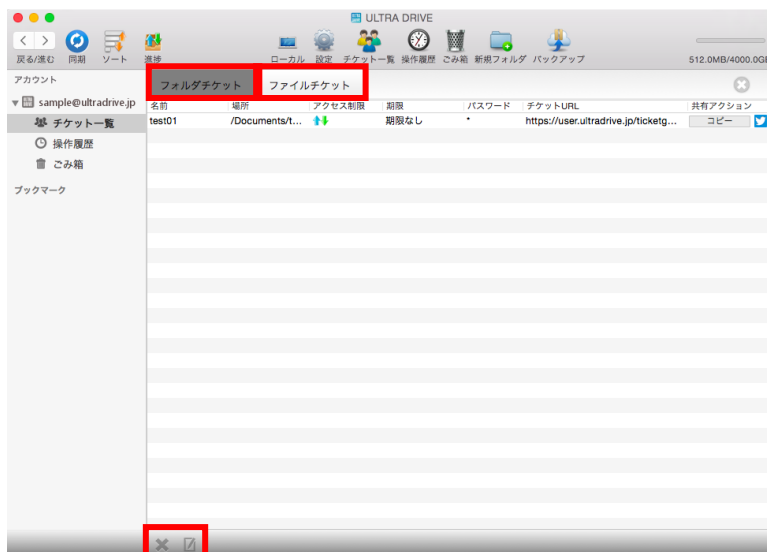


フォルダやファイルに設定した制限を確認、変更するウィンドウが表示されます。

フォルダ/ファイルの各一覧の切替はメイン画面中央にあるタブより選択します。


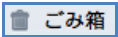
公開設定を変更したい場合、一覧から選択（クリック）したのちにメイン画面下部にある  をクリックします。

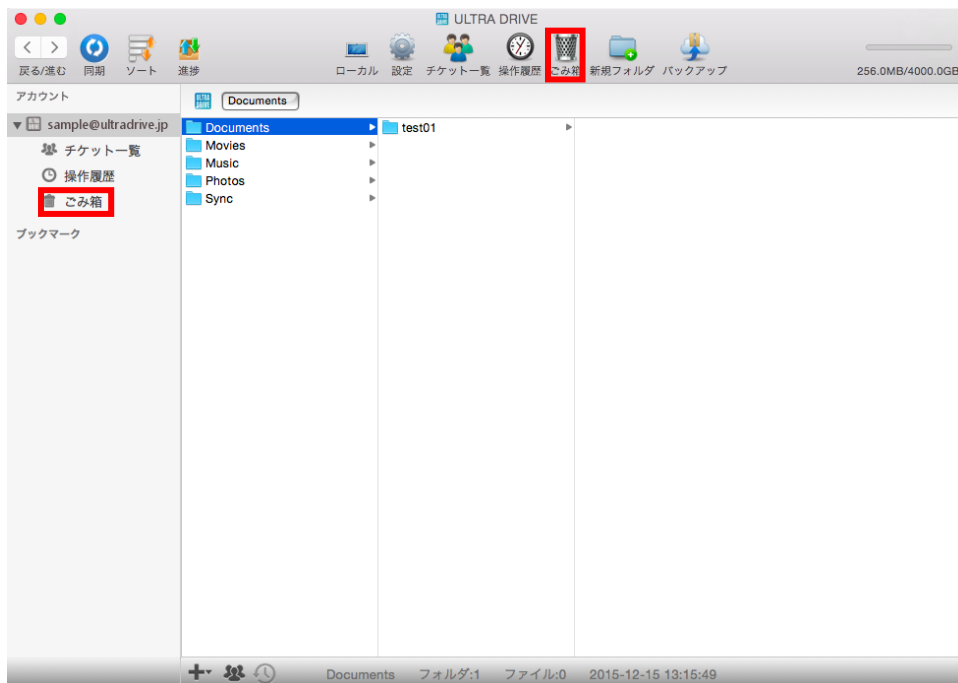
設定を削除（公開を停止）したい場合、一覧から選択（クリック）したのちにメイン画面下部にある  をクリックします。






## 10. ごみ箱の利用

ULTRA DRIVE 上には、MacOS のゴミ箱と同じ機能の「ごみ箱」があります。 削除したいフォルダ/ファイルを右クリックして「削除」をクリックする事でごみ箱へ移動する事ができます。 または、削除したいフォルダ/ファイルを選択し、「Command」+「delete」キーを押す事でごみ箱に移動します。

ごみ箱の中身を表示するには、メイン画面上部にある  をクリックするか、メイン画面左側、メニュー内の  をクリックします。



ごみ箱の中身进行操作するには、対象となるファイルを選択し、画面下部にある

- 「 完全に削除」
- 「 ごみ箱を空にする」
- 「 元に戻す」



をクリックする事で、それぞれの操作が可能です。

※「完全に削除」、「ごみ箱を空にする」は、操作後の復元はできません。

## 11. ローカルデータのバックアップ

バックアップ機能では、対象となるフォルダやファイルをあらかじめ圧縮して ULTRA DRIVE にアップロードします。バックアップデータにはパソコンのどのフォルダから、いつ、バックアップしたものなのかの情報が保持されています。

«バックアップツールの機能»

バックアップツール	バックアップ項目のステータスが確認できます。
手動バックアップ	ユーザが手動で特定のフォルダをバックアップする。
バックアップデータの復元	バックアップしたデータを復元する。
バックアップデータの削除	バックアップしておいたデータを削除する。

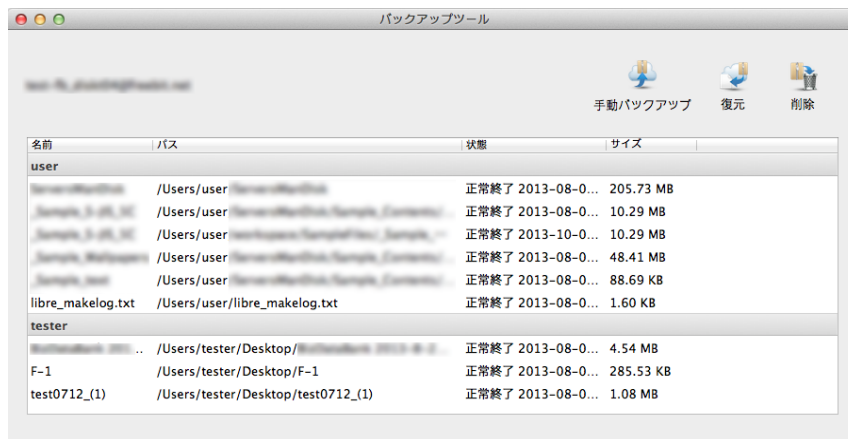
## 11.1. バックアップツール

バックアップツールのトップ画面では、バックアップのステータスが確認できます。

- ① ニューバーの「バックアップ」をクリックします。



- ② バックアップツール画面には、バックアップ済みデータが一覧表示されます。



«状態»欄のステータスには以下のものがあります。

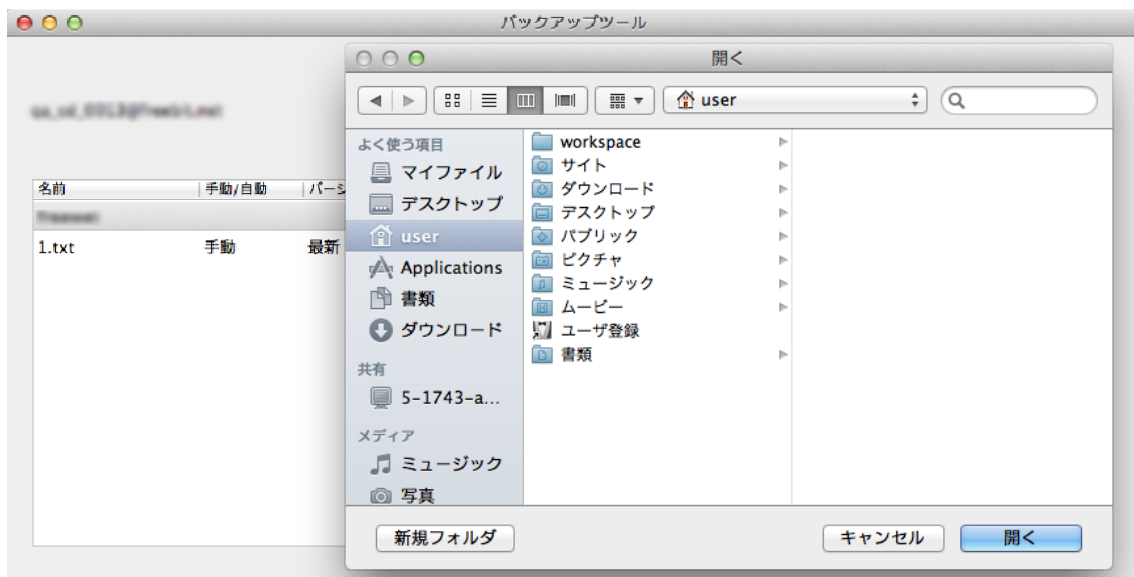
表示項目	事象
年/月/日 時:分:秒 正常完了	バックアップ処理が正しく完了したことを示しています。
年/月/日 時:分:秒 異常完了 異常終了 操作に失敗しました	バックアップ処理が正しく終了していないことを示しています。 ネットワークに接続できず、バックアップファイルのアップロードに失敗した場合に表示されます。
年/月/日 時:分:秒 異常完了 サイズが規定数を超過しました。	バックアップ処理が正しく終了していないことを示しています。 バックアップ対象が規定の 2GB を超過した場合に表示されます。
年/月/日 時:分:秒 異常完了 中止	バックアップ処理が正しく終了していないことを示しています。 バックアップ処理中にアプリケーションを強制的に終了した場合に表示されます。
年/月/日 時:分:秒 異常完了 指定先の名前が参照できません。	バックアップ処理が正しく終了していないことを示しています。 バックアップ設定したファイルの名前を変更した場合に表示されます。
準備中	バックアップデータのアップロード前の処理を行っていることを示しています。
アップロード中	バックアップデータを ULTRA DRIVE へアップロードしている最中であることを示しています。

## 11.2. 手動バックアップ

- ① バックアップツールを起動します。
- ② 右上の「手動バックアップ」アイコンをクリックします。



- ③ 「開く」画面が起動します。バックアップするフォルダ/ファイルを選びます。



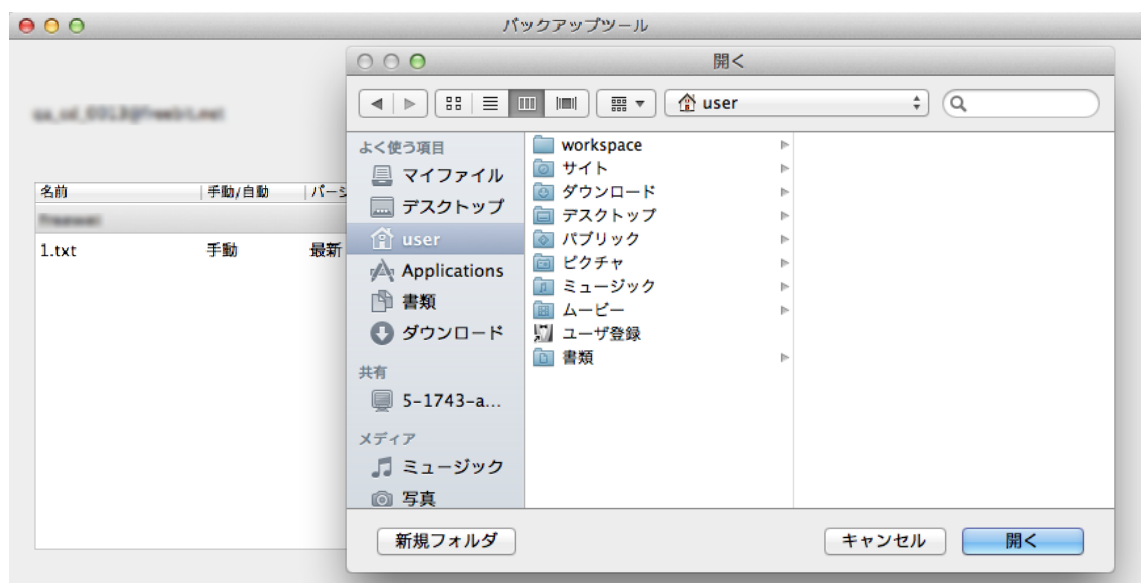
※同じファイル/フォルダのバックアップは、上書きではなく、別のバックアップデータが追加されます。

## 11.3. バックアップデータの復元

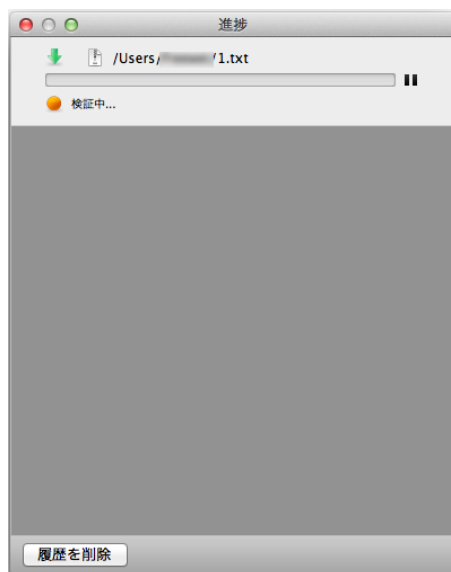
- ① バックアップツールを起動します。
- ② 右上の「復元」アイコンをクリックします。



- ③ 「開く」ウィンドウが起動します。バックアップ元のフォルダがある場合はそのフォルダがあらかじめ選択された状態になっています。



- ④ バックアップデータをダウンロードし、復元しています。



- ⑤ 復元したデータは、バックアップ元フォルダの中に以下のような名称のフォルダ名を作成し、保存されます。

※ フォルダを復元する場合

復元したフォルダ名                      <バックアップフォルダ名><yyyymmdd.hh>

例 : Favorites\_2013-08-08.18

Favorites というフォルダを、2013 年 8 月 8 日 18 時にバックアップした、という意味。

※ ファイルを復元する場合

復元したファイル名    <バックアップファイル名><yyyymmdd.hh>.<拡張子>

例 : ABC\_2013-08-08.18.doc

ABC.doc というファイルを、2013 年 8 月 8 日 18 時にバックアップした、という意味。

※ 復元先で、すでに同じファイルが復元されていた場合

新たに復元したファイル名<バックアップファイル名><yyyymmdd.hh>(1).<拡張子>

※ 復元時、もともと存在するファイル名と同じ名前が指定された場合は、

「<ファイル名>はすでに存在します。ファイル名を変更して下さい」と表示されボタンは「OK」のみとなります。



## 11.4. バックアップデータの削除

- ① バックアップツールを起動します。
- ② リストから削除するバックアップデータを選択し、右上の「削除」アイコンをクリックします。

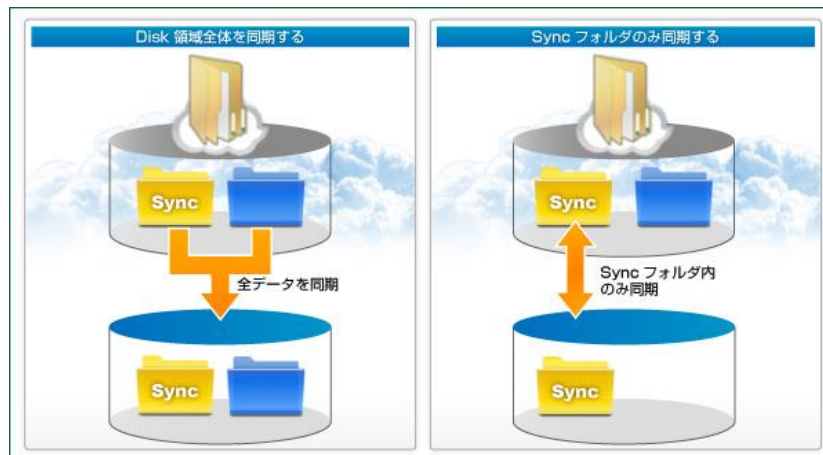



- ③ 削除の確認ダイアログボックスが起動します。  
よければ「はい」をクリックします。
- ④ 削除が成功すると、リストからバックアップデータが消去されます。

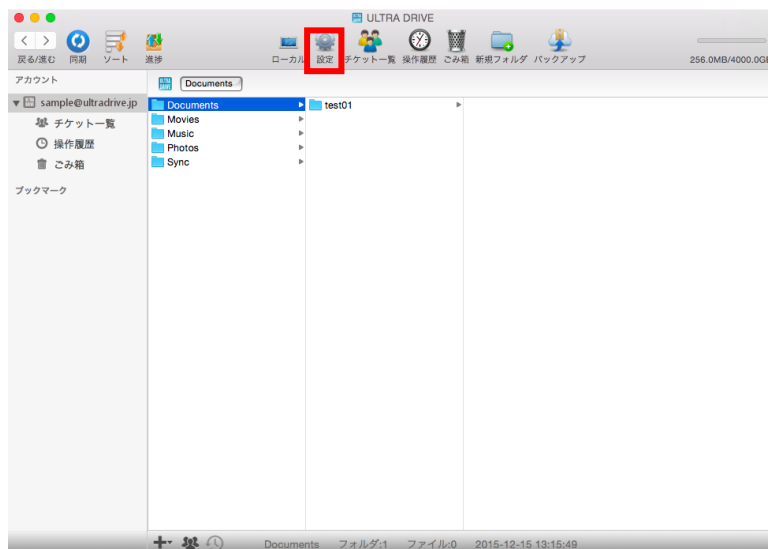
## 12. Sync 機能

ULTRA DRIVE は 2 つの同期方法（Disk 全体を同期、もしくは Sync フォルダのみを同期）があり、ご利用用途に応じて自由に使い分けが可能です。

（Sync 機能概念図）



Sync を設定するにはメイン画面上部にある  ボタンをクリックします。



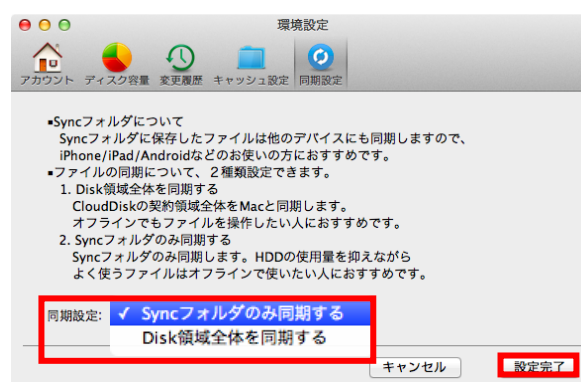
「環境設定」が開いたら  
「同期設定」のタブをクリックします。



「同期設定」というプルダウンメニューがあります。

- ・ Sync フォルダのみ同期する
- ・ Disk 領域全体を同期する

いずれかを選択し、「設定完了」をクリックします。

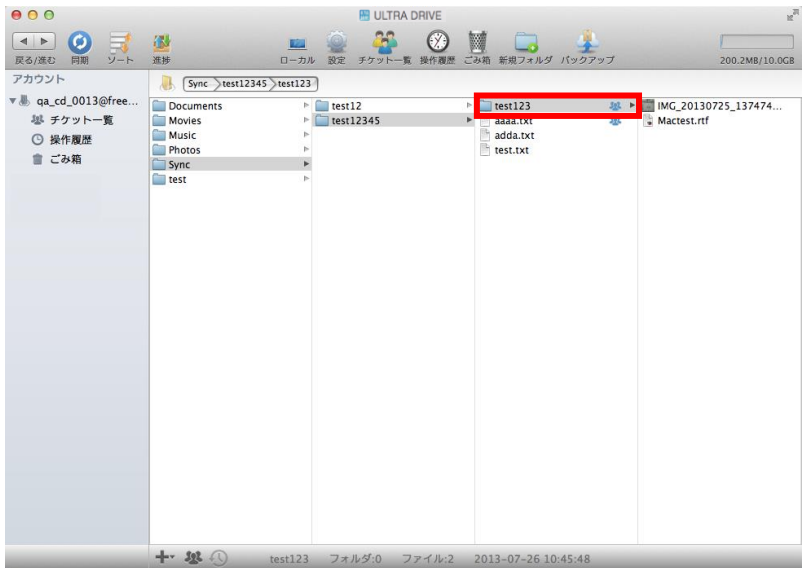


設定完了後、同期を実施するにはメイン画面左上にある  をクリックします。

※ Sync フォルダの名称は変更しないでください。  
変更した場合、正常に同期できない可能性があります。

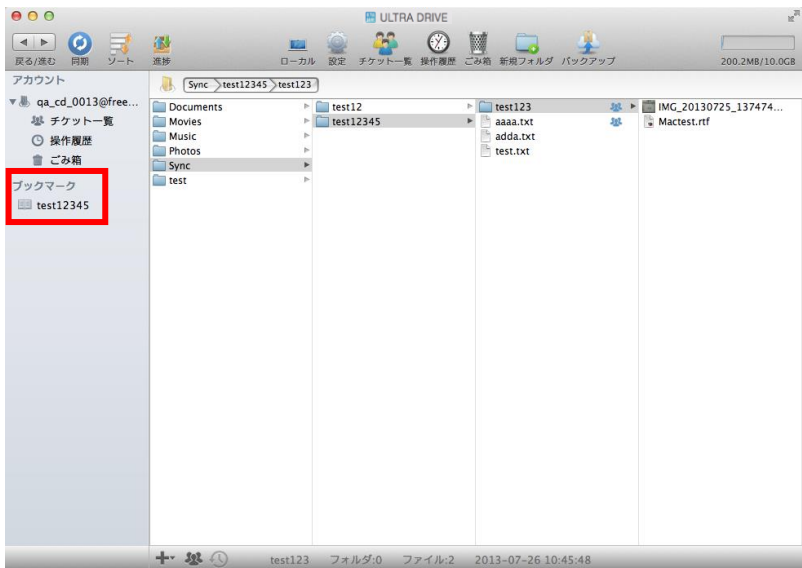
## 13. ブックマーク機能

ULTRA DRIVE 上のフォルダのブックマークを、ULTRA DRIVE 上に登録する事ができます。  
ブックマークを作りたいフォルダを右クリックし、「ブックマーク」をクリックします。



左側メニューの「ブックマーク」以下に新たにブックマークが作成されました。

今後はこの「ブックマーク」より簡単に対象のフォルダへのアクセスができるようになります。



## 14. プッシュ通知機能

ULTRA DRIVE に保存されているファイルやフォルダに対する操作（アップロード、上書き、削除）を行うと当該アカウントを設定したアプリに通知されます。


更新があった場合、デスクトップ右上にプッシュ通知が一定時間表示されます。

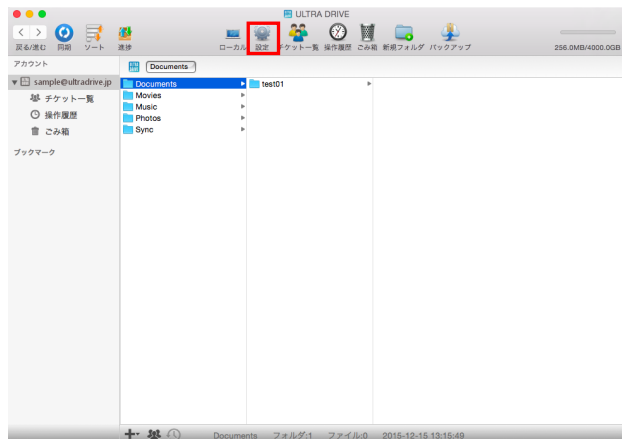
※更新通知機能はマルチデバイスに対応しておりますが、1 クライアント 1 端末にしか通知されません。

例えば、2 台の Mac 端末に ULTRA DRIVE アプリをインストールした場合、通知を受け取れるのはどちらか一方の Mac 端末のみとなります。

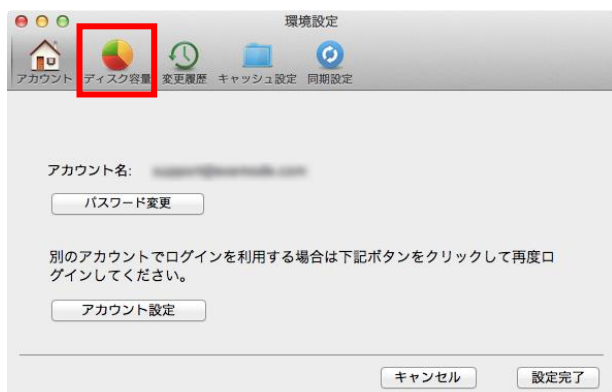
## 15. 利用容量の確認

現在 ULTRA DRIVE をどれだけ、どのように使っているのかを円グラフで確認できます。

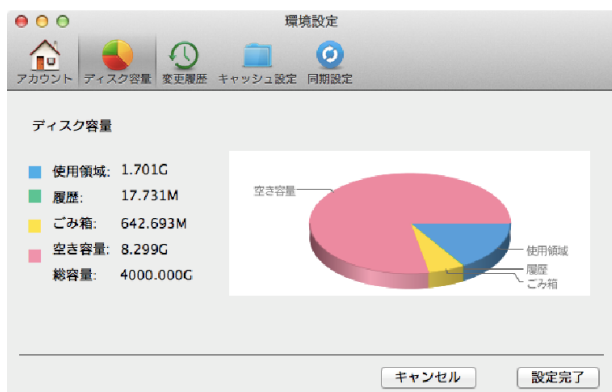
メイン画面上部の  をクリックし、「環境設定」を開きます。



「環境設定」が開いたら「ディスク容量」のタブをクリックします。



ディスク容量のウィンドウが開きます。  
現在の容量とその内訳が円グラフで表示されます。



## 16. 新規ファイルの作成と編集（テキスト）

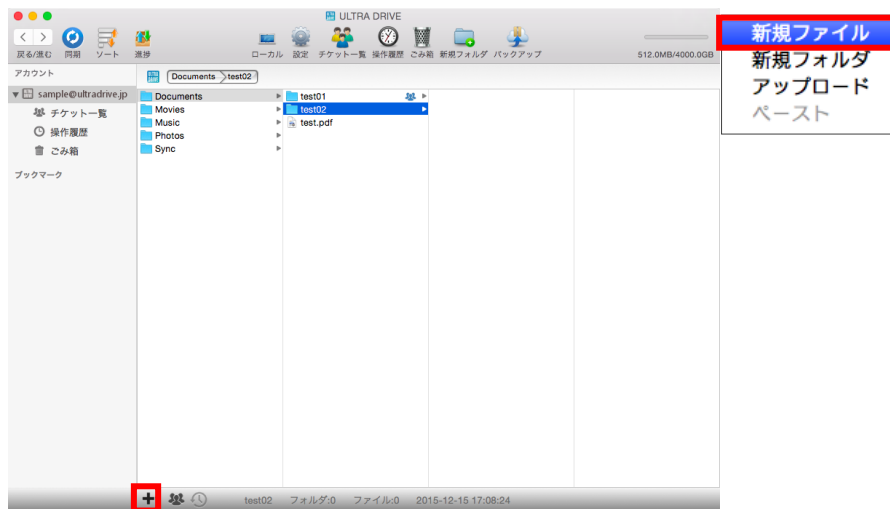
ULTRA DRIVE 上でテキストファイルを作成、編集を行うことができます。

ULTRA DRIVE 上でテキストファイルを作成したいディレクトリを開き、メイン画面下部にある

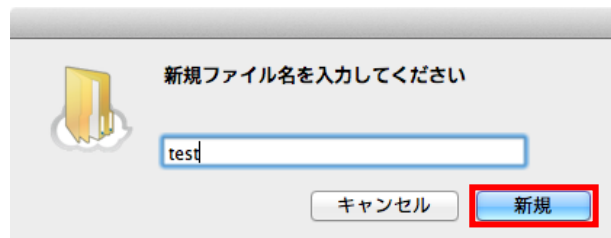


ボタンをクリックし、「新規ファイル」をクリックします。

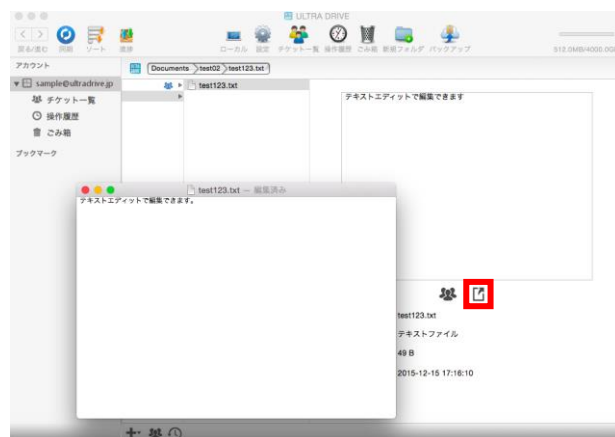
または、ULTRA DRIVE 上の何も無いところで右クリックして現れるメニューから「新規ファイル」をクリックします。



新規ファイル名の入力を求められますので、任意のファイル名を入力し、「新規」ボタンをクリックします。




テキストファイルが作成されました。  
テキストファイルの編集は、  
Mac の「テキストエディット」で  
行うことができます。

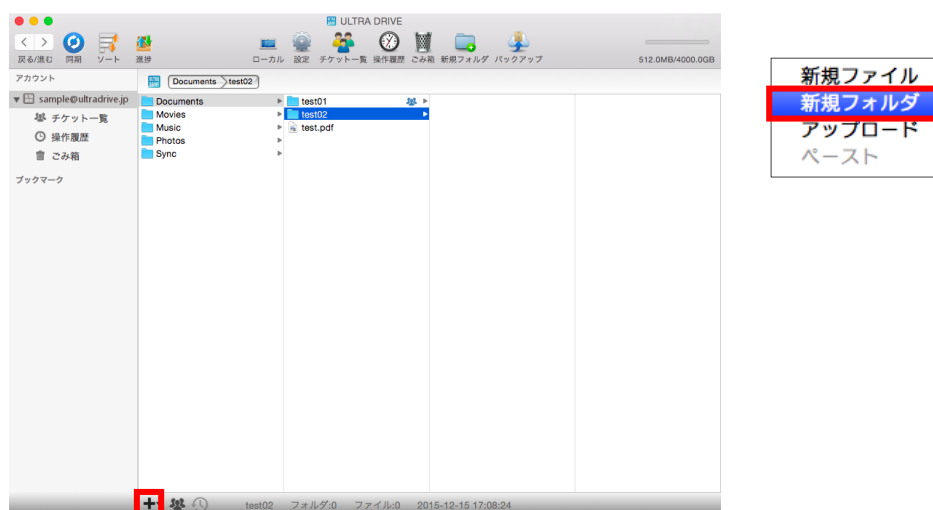


## 17. 新規フォルダの作成

ULTRA DRIVE 上でフォルダを予め作成しておく事ができます。

ULTRA DRIVE 上でフォルダを作成したいディレクトリを開き、メイン画面下部にある  ボタンをクリックし、「新規フォルダ」をクリックします。

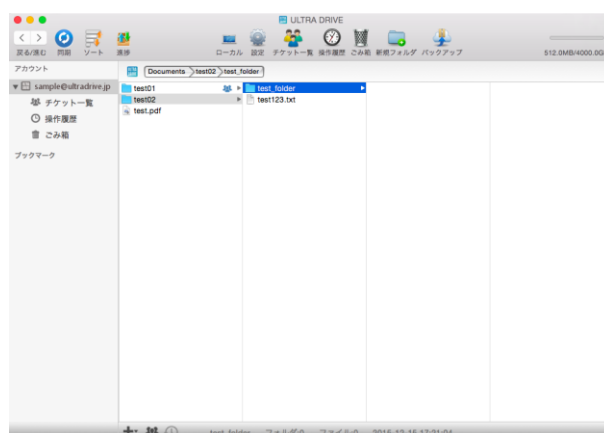
または、ULTRA DRIVE 上の何も無いところで右クリックして現れるメニューから「新規フォルダ」をクリックします。



新規ファイル名の入力を求められますので、任意のフォルダ名を入力し、「新規」ボタンをクリックします。



新たにフォルダが作成されました。





## 18. 仕様に関してのご注意事項

### 18.1. Mac クライアントと Windows クライアントの違い

項番	項目	内容	Windows	Mac
①	ファイルのアップロードとダウンロード	ULTRA DRIVE にファイルをアップロード/ダウンロードします。	○	○
②	転送確認 (ファイルのアップロード状況)	ULTRA DRIVE にファイルをアップロードする際進捗状況が確認できます。	○	○
③	ファイル・フォルダの移動とコピー	ULTRA DRIVE 上で任意のファイル/フォルダを移動/コピーできます。	○	○
④	ファイル更新履歴の管理	内容を変更したファイルを上書きアップロードした際旧ファイルの情報を保持し、復元できます。	○	○
⑤	操作履歴の確認	どのような操作をしたか、履歴を確認できます。	○	○
⑥	アクセスチケットの生成 (フォルダ/ファイルの公開)	フォルダやファイルを公開します。 パスワード、ダウンロード上限、公開期限といったアクセス制限を設定できます。	○	○
⑦	アクセスチケットの管理 (フォルダ/ファイル公開の管理)	公開したフォルダやファイルを一覧表示します。不要なアクセスチケットの削除や、パスワード、ダウンロード上限、公開期限といったアクセス制限を再設定できます。	○	○
⑧	twitter への アクセスチケット共有	生成したアクセスチケットを twitter へ投稿することができます	○	×
⑨	ごみ箱の利用	不要なファイルやフォルダをごみ箱に入れることができます。 削除したファイルを元に戻します。	○	○
⑩	ローカルデータ	パソコンにあるファイルやフォルダ	○	○

	バックアップ	を、日時や場所を記憶してバックアップ・復元できます。		
⑪	Sync 機能	Sync フォルダをパソコンにも作成し、内容を同期します。 Disk 全体の同期に設定を変更することもできます。	○	○
⑫	ショートカット機能	パソコン側に Disk や任意のフォルダへのショートカットを作成します。	○	×
⑬	コンテキストメニューからの ULTRA DRIVE 利用	コンテキストメニュー（右ボタンメニュー）を使って、パソコンのデスクトップにあるフォルダやファイルをアップロードしたり、バックアップしたりできます。	○	×
⑭	プッシュ通知機能	Disk の内容が変更された場合、その旨を通知します。	○	○
⑮	利用容量の確認	総量に対するファイルやフォルダの使用領域、履歴データ、ごみ箱データが占める割合を確認できます。	○	○
⑯	新規テキストファイルの作成	アプリケーション内で新規テキストファイルを作成できます。	○	○
⑰	パスワード変更	ULTRA DRIVE にログインするパスワードを変更できます。	○	○
⑱	複数アカウント登録	ULTRA DRIVE のアカウント情報をあらかじめ複数保持できます。	○	×
⑲	プロキシサーバー環境での利用	プロキシ経由で ULTRA DRIVE にアクセスすることができます。	○	×

## 18.2. ご注意事項

### 1. Sync フォルダの名称変更

Sync フォルダの名称は変更しないでください。 変更した場合、正常に同期できない可能性があります。

### 2. ファイルまたはフォルダのコピーについて

ファイルまたはフォルダをコピーして、同一の階層にペーストすることはできません。このような操作を行う場合、ファイルを右クリックし、「複製」をクリックすると、同一の階層で、「filename\_copy.拡張子」のファイルを作成することができます。

### 3. ごみ箱へのドラッグ&ドロップについて

ごみ箱へのドラッグ&ドロップは対応していません。

ごみ箱の操作方法については「10.ごみ箱の利用」をご参照ください。

以上